

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● 前立腺特異抗原(PSA)レクチン結合分画比
(S2,3PSA%)

(依頼コード No.13961)

受託開始日 2024年2月19日(月) ご依頼分より

前立腺特異抗原(PSA)は糖タンパク質であり、正常組織由来のものと癌由来のものでは、その糖鎖構造が異なります。

健常者や前立腺肥大症などの良性疾患の糖鎖構造はN型糖鎖の末端シアル酸残基が $\alpha(2,6)$ 結合でガラクトースに結合したPSA(S2,6PSA)の割合が多く、前立腺癌の患者では糖鎖構造が変異し、 $\alpha(2,3)$ 結合でガラクトースに結合したPSA(S2,3PSA)の割合が増加いたします。そのため、S2,6PSAとS2,3PSAの総和に占めるS2,3PSAの割合(S2,3PSA%)は、前立腺癌と前立腺肥大症との識別において有用性が示されています。

S2,3PSA%測定は、前立腺癌診断において高い特異度を有し、不必要な針生検の低減が期待されます。この度、本検査が前立腺癌の診断補助を使用目的として保険適用されましたので、検査の受託を開始いたします。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1
☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play



Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル



受託要領

依頼コードNo.	13961
検査項目名	S2・3PSA%
統一コード	5D304-0000-023-024
検体必要量	血清 0.5mL
容器	B-1→S-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	3～6
検査方法	LBA-EATA法
基準値	38.0未満
単位	%
報告範囲	20.0未満～80.1以上
報告桁数	小数第1位
検査実施料/判断料	248点/144点(生化学的検査(Ⅱ))
	<p>本検査は、前立腺癌であることが強く疑われる者であって、前立腺特異抗原(PSA)の結果が4.0ng/mL以上10.0ng/mL以下である者に対して、LBA法(定量)により、本検査を測定した場合に限り算定する。</p> <p>本検査は、前立腺癌の診断に当たって実施した場合に、原則として1回を限度として算定する。ただし、前立腺針生検法等により前立腺癌の確定診断がつかない場合においては、3月に1回に限り、3回を限度として算定できる。</p> <p>本検査と、前立腺特異抗原(PSA)、遊離型PSA比(PSA F/T比)またはプロステートヘルスインデックス(phi)を併せて実施した場合には、いずれか主たるもののみ算定する。</p> <p>診療報酬明細書の摘要欄に、前立腺特異抗原(PSA)の測定年月日及び測定結果を記載すること。また、本検査を2回以上算定する場合は、診療報酬明細書の摘要欄にその必要性を記載すること。</p>

●S2,3PSA%の計算式

$$S2,3PSA\% = \frac{S2,3PSA濃度(ng/mL)}{S2,6PSA濃度(ng/mL) + S2,3PSA濃度(ng/mL)} \times 100$$

【検査方法の参考文献】

米山 徹, 他: 医療と検査機器・試薬 46, 244-257, 2023.